

さいたま市長 7月定例記者会見

平成28年7月14日（木曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
それでは、記者クラブ幹事社のテレビ埼玉さん、進行をよろしく願い  
いたします。

○テレビ埼玉 7月の幹事社を務めますテレビ埼玉と申します。よろしくお願いいたします  
ます。

それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いし  
ます。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。

梅雨明け前のこの時期は、気温の変動が激しいため、体調管理が難しい  
時期でございます。特に熱中症につきましては、7月に入ってからのおさい  
たま市内における救急搬送の件数が昨年の同時期と比べまして大幅に上回  
っております。熱中症は、気温、湿度、さらに地面や建物から出る輻射熱  
といった複数の要因で危険度が上がると言われています。日差しが出てい  
なくても、室内でも起こりますので、ご注意をいただきたいと思ひます。

また、さいたま市では、一時休憩所として涼むことのできるように、「ま  
ちのクールオアシス」として公共施設を開放していますので、ご利用いた  
だきたいと思ひます。

それでは、議題の説明に移らせていただきます。

**市長発表：議題1「2016ツール・ド・フランス さい  
たまクリテリウム クリス・フルーム選手の出場が  
決定！！」**

それでは、まず初めに議題1「2016ツール・ド・フランスさいたま  
クリテリウム クリス・フルーム選手の出場が決定！！」について説明を  
させていただきます。

今月2日にツール・ド・フランス2016が開幕いたしました。3日の  
第2ステージ、翌日4日の第3ステージで、本市職員がさいたまクリテリ

ウムのPRを行いまして、市内の子供たちを中心に折っていただきました千羽鶴をフランス本大会のディレクターに贈呈いたしたところでございます。日本の伝統文化であります折り鶴を世界にPRするとともに、ご協力いただきました方々の本大会の成功とともに選手の安全と健康をとの思いを届けてまいりました。

現地では大会スタッフ、参加選手だけでなく、多くの観客からも写真撮影を求められ、大歓迎をされたと報告を受けております。これまでのさいたまクリテリウムで活躍した選手たちも千羽鶴を手にして大変喜んでいただいたところでございます。この千羽鶴は、ツール・ド・フランスとともにフランスを回り、さいたまに戻ってまいります。

ツール・ド・フランスが開幕して早々、私たちにとって大変うれしいニュースが入りました。「J : COM presents 2016 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」にクリス・フルーム選手の出場が決定いたしました。

フルーム選手は、さいたまクリテリウム初開催から4年連続の出場となります。ツール・ド・フランスで2度も総合優勝するなど、間違いなく世界が認めるトップライダーの一人であります。フルーム選手の出場が早々に決まったことは大変光栄であり、またうれしいことであります。さいたまクリテリウムでの彼の熱い走りに期待しております。

今大会も世界トップレベルの選手を招聘できるようASO社と協働してまいりたいと思います。全体の選手発表は9月末の予定でございます。つい先日のステージまではフルーム選手はマイヨジョーヌでありました。

ことしも100日前PRイベントを実施いたします。7月21日木曜日11時半から17時までJRさいたま新都心駅の東西自由通路で実施いたします。

内容としましては、東西自由通路にあります大型ビジョンで大会PR動画を放送いたしまして、あわせて懸垂幕であるとかバナーで通路内を黄色く装飾してまいります。また、オフィシャルグッズや大会記録写真、さらにはことしが出場が決まりましたフルーム選手のサイン入りジャージを展示してまいります。後ほど説明いたしますが、カウントダウンフォートの一般参加撮影会もあわせて実施いたします。16時からのチラシの配布には

私も参加する予定で、16時30分から参加ができると思います。取材のほうもよろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、7月21日木曜日の大会開催100日前から、昨年も行いましたけれども、100日カウントダウンフォトを実施いたします。さいたまクリテリウムの大会公式ホームページ及びSNSでの企画で昨年実施いたしまして、大変好評いただいたものであります。さいたま市にゆかりのある方、また著名人、自転車選手などにご参加いただきまして、写真に大会への応援メッセージを添えて大会前日までカウントダウンしていくものであります。昨年は、浦和レッズ、大宮アルディージャの選手、佐々木則夫さん、またロックバンドSEKAI NO OWARIのDJラブさんにご参加をいただきました。ことしもPR効果の高い魅力的な方々にご参加いただく予定となっております。

ことしは一般の方にも応援メッセージフォトとして参加できるようにいたしました。この応援メッセージフォトを募集する撮影イベントを実施いたします。こちらにございますようなボードにメッセージを書いていただきまして、写真を撮らせていただきます。そして、それを掲載させていただきますが、撮影イベントに関しましては、プレゼンティングスポンサーでありますJ:COM様のイベントで「ツール・ド・フランス2016開催記念イベント」内で行われるのが1つ、それから21日に行われる「大会100日前PRイベント」で1回、そしてさらには「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムカフェオープン記念イベント」で実施してまいります。

次に、クリテリウムカフェの銀座でのオープンについてお話をいたします。7月21日木曜日にツール・ド・フランスさいたまクリテリウムカフェがオープンいたします。これは、さいたまクリテリウムと東急ハンズとのコラボレーションで実施する期間限定のカフェでございます。会場は、東急プラザ銀座7階にあります「ハンズ・エキスポ・カフェ」。実施期間は大会100日前の7月21日木曜日から7月30日土曜日まで。東京の中心とも言えるこの場所で大会のPRを行ってまいります。まさにツール・ド・フランスが持つブランド力によるものと考えております。またあわせまして、さいたま市のPRの効果も期待できると考えております。

カフェの内容といたしましては、店内をイメージカラーの黄色を基調に、さいたまクリテリウム（[関連](#)）グッズで装飾しまして、開催中でありますツール・ド・フランスの映像をごらんいただいたり、今年のさいたまクリテリウムの映像を放映してまいります。また、東急ハンズ側でオリジナルメニューを考案していただきました。来店された方には、クリテリウムロゴに4賞ジャージの色をあしらいましたこのコースターとステッカーをプレゼントいたします。オフィシャルグッズの販売、また先ほど説明をいたしましたカウントダウン撮影会もあわせて実施いたします。多くの方に足を運んでいただきたいと思います。

大会開催まで引き続きPRを実施してまいります。今後もさまざまな企画を検討してまいりますので、報道各社の皆さんにおかれましても、ぜひ大会PRにご協力をいただければと思っております。

## 市長発表：議題2「さいたま市もの忘れ検診事業を開始します」

続きまして、議題2、平成28年8月1日から新規事業として開始いたします「さいたま市もの忘れ検診事業を開始します」について説明をさせていただきます。

本事業は、本市初の認知症に関する検診事業でございます。他の政令指定都市では実施されておりません。政令指定都市では、本市が初めてということになります。

まず、この事業を行っていく背景についてでございますが、本市では認知症の高齢者数が平成27年度は2万4,000人、また高齢者人口比で8.8%という数値になっております。これらの推移を見てまいりますと、毎年1,000人程度の規模で認知症の高齢者が増加しているという状況がございます。

また、本市の介護保険データでは、要支援、要介護認定者の半数以上の方が認知症を有しておられます。さらに、軽度の方も含めると、潜在的にはもっと多くの方が何らかの認知症を患っていると推測ができます。

こちらは、本市の年齢別の認知症有病率をあらわしたグラフでございます。ごらんとおり、90歳まで5歳刻みで認知症の有病率があらわされ

ておりますけれども、その前の世代と比べると大体2倍の規模でだんだん上昇しているという状況でございます。高齢になるほど認知症の有病率が上昇してくるということでございます。

今後の後期高齢者の増加に比例しまして、認知症の方も大幅に増加する見込みとなっております。そのため、今後認知症の予防、あるいは認知症の早期発見と重度化の抑制の取組が認知症の施策として大変重要であると考えております。

こうした背景を踏まえまして、本市では認知症の早期発見・早期診断の推進が課題であると考えました。認知症は、早期に治療を開始することでその進行を遅らせることが可能となります。また、認知症の種類によっては、早期発見により治療が可能なものもございます。

そこで、平成27年度当初から、この「もの忘れ検診」の事業化につきまして医師会と検討を進めてまいりました。この「もの忘れ検診」は、認知症の重度化の抑制や治療可能な認知症への確実な対応が事業の目的でございます。事業の規模、また事業の効果検証を行うために、平成28年度、平成29年度はモデル事業という位置づけで実施をさせていただき予定でございます。

まず、この「もの忘れ検診事業」の大まかな流れについてご説明させていただきます。検診の対象者でございますが、まず対象者の方は予約をした上で検診実施医療機関において「もの忘れ検診」を受診していただきます。対象者は、市内在住の65歳、70歳、75歳、80歳の方々でございます。また、認知症の診断を受けたことがない方でございます。そして、その方々が「認知機能の低下の疑いがあり」と判断をされた場合には、検診実施医療機関は認知症診断医を紹介いたします。

検診対象者は、予約をした上で認知症診断医に受診していただき、認知症診断医の方は精密検査を実施していただきまして、「鑑別診断」の結果、要治療となった場合については、認知症診断医やもの忘れ相談医において日常診療も開始するという流れでございます。

それでは、これから事業の詳細について説明させていただきます。検診実施機関による「もの忘れ検診」では、「浦上式もの忘れスクリーニング検査」と「行動・心理症状チェックリスト」で検診を実施いたします。これ

は、3つの単語による記憶力や図形の模写の正確性、認知症に伴う行動や心理症状をチェックするものでございます。「もの忘れ検診」の実施期間は、平成28年8月1日月曜日から開始いたしまして、終了は特定健診などと同じく平成29年3月11日土曜日までということになっております。

一方、認知症診断医によります「鑑別診断」は、心理テストや脳の画像検査を踏まえまして、認知症か否か、また認知症である場合はその原因疾患の特定を行うものでございます。そして、その診断結果から適切な治療方針を立てていただきます。「鑑別診断」の実施期間は、平成28年8月1日月曜日から平成29年3月31日金曜日の年度末までということになります。本市の事業は、単に検診をして終わりではなくて、検診の後に「鑑別診断」につなぐところまでを事業の枠組みに位置づけている点が特徴と言えるのではないかと思います。

次に、対象者でございますが、先ほども申し上げましたけれども、この3つの要件を全て満たしている方でございます。1点目は、検診受診日に本市に居住している方、2点目が検診受診年度の4月1日から3月31日の間に65歳、70歳、75歳、80歳のいずれかの年齢になる方、そして3点目は検診受診日までに医療機関で認知症の診断を受けたことがない方、この3つの要件を満たす方でございます。

3点目の認知症の診断の有無につきましては、市でも医療機関でも把握できないために、あくまでも自己申告により判断をいただくということになります。

次に、費用負担でございます。「もの忘れ検診」の受診者の自己負担は無料となっております。ただし認知機能の低下の疑いありと判断された方が認知症診断医によります「鑑別診断」を受ける場合には、保険診療となるために医療費の自己負担が発生いたします。

受診に当たりましては、受診者はまず受診を希望する医療機関に予約をしていただき、健康保険の被保険者証や生活保護受給者証、中国残留邦人等支援給付受給者本人確認証を身分証明書として持参いただきます。こうした形でこの事業を実施してまいります。

本市では、認知症の早期発見、早期診断を推進しまして、認知症の方やそのご家族の支援に全力で取り組んでまいります。

### 市長発表：議題3「ホームドア設置を促進します ～『浦和駅』・『さいたま新都心駅』にホームドア設置 補助を実施～」

続きまして、議題3「ホームドア設置を促進します～『浦和駅』・『さいたま新都心駅』にホームドア設置補助を実施～」について説明します。

「浦和駅」、それから「さいたま新都心駅」の京浜東北線ホームへのホームドア設置に対して補助を行います。ホームからの転落や列車との接触事故等が発生しておりまして、利用者の安全性が求められております。

本市では、ホームからの転落の防止、列車との接触防止をする上で非常に効果の高いホームドアの設置を促進してまいります。

具体的方法といたしましては、ホームドアの設置に対しまして鉄道事業者の申請に基づき補助を行うことによりまして設置を促進してまいります。ホームドアが設置されることによりまして、ホームからの転落事故や列車との接触事故等が減少し、ホームにおける安全性が格段に向上すると考えております。

ホームドア設置の法的な位置づけでございますけれども、「バリアフリー法」のもとに基本方針が定められております。その中で、「移動等円滑化の目標」が定まっております。

ホームドアについては、後に「ホームドアの整備促進等に関する検討会」によって、より具体的な「中間取りまとめ」が示されております。この「中間取りまとめ」の概要でございますが、ホームドア等の転落防止対策の優先整備駅の考え方といたしましては、視覚障害者団体からの要望が高い駅と利用者の多い駅が挙げられております。

転落防止対策の進め方としましては、利用者10万人以上の駅についてはホームドア等の整備を進め、利用者1万人以上の駅については内方線付き点状ブロック等の整備を進めることとしております。

市内における1日当たりの平均乗降者数が10万人以上の駅でございますけれども、水色の円で示しました「JR大宮駅」、「浦和駅」、「東武線の大宮駅」、「南浦和駅」、「北浦和駅」、「武蔵浦和駅」の計6つの駅が該当します。

しかし、「(さいたま) 新都心駅」につきましても、27年のデータでは9万6,742人ということで、ほぼ10万人に達しているということもあり、また人口が非常に増えているというエリアでもあるということで、該当ということにさせていただきます。

ホームドアに関する補助要綱は、「さいたま市交通バリアフリー化設備補助金交付要綱」で定めております。ホームドア設置補助の対象となる駅は、1日当たりの平均乗降者数が10万人以上の駅もしくは駅周辺に視覚障害者が多く利用する関連施設、盲学校などのある駅等で、本市が必要と認める駅と定めております。

先ほど示したとおり「浦和駅」については10万人以上の乗降者数を有してございます。また、「さいたま新都心駅」については9万6,000人と10万人には届いておりませんが、利用者数が毎年増加していること、また浦和区の大原にございます「障害者交流センター」の利用やオリンピック会場となります「さいたまスーパーアリーナ」の来場者に対しまして整備効果が高いと判断したことから補助の対象とさせていただいております。

補助対象は、実際にバリアフリー化設備を設置する鉄道事業者としておりまして、今回はJR東日本になります。補助の範囲は、1鉄道駅につき2列まで、補助金の交付額は工事費等の補助対象経費の6分の1かつ補助対象経費の上限を1億8,000万円としていることから、1列当たり3,000万円が上限となります。

「浦和駅」、「さいたま新都心駅」ともに1列当たり上限の3,000万円を補助をし、2列で6,000万円ずつ交付する予定となっております。

京浜東北線と山手線のホームドア整備状況でございますけれども、この内側を青色で塗っていますところは既にホームドア設置済みの駅を示しております。「品川駅」がグレーでございますけれども、これは工事中を示しております。そして、この赤色で塗っているところは今年度ホームドアの工事着手を予定している駅ということです。

山手線につきましては、大規模改修駅を残し、ほぼホームドアの設置は完了しています。また、JRは山手線に続き、京浜東北線にホームドアを設置していく予定と聞いております。



ごらんのとおり「浦和駅」、「さいたま新都心駅」はJR線内では埼玉県内初のホームドア設置駅となる予定でございます。

こちらはホームドア設置の実例写真とイメージ図でございます。左の山手線のほうは実際の写真でございまして、右はイメージ写真になります。ごらんのとおりホームドアが設置されますと、ホームからの転落防止対策、また列車との接触防止対策等に非常に有効であると考えております。

以上で3つの議題の説明は終わらせていただきます。

## 議題2に関する質問

○ テレビ埼玉

ありがとうございました。

では、市長からの説明について質問のある方はお願いします。

幹事社のほうから何点か質問させていただきます。2つ目の発表にありました「もの忘れ検診事業」なんですけれども、こちら先ほど政令指定都市では初ということだったんですが、全国または県内で見てもどうかというところと、もう一点、今後の目標として、認知症高齢者の割合で何か目標で掲げているものがあれば、いつまでに何%にするかというのがあれば教えてください。

○ 事務局

埼玉県内では、今行っているところとしまして草加市と八潮市が実施しております。ただ、草加市、八潮市では医療機関における問診ではなく、チェックリストによる自己チェックとなっております。あと、石川県の加賀市では本市とほぼ同じ仕組みで事業を実施しております。

2点目の質問の目標値ですが、こちらはまだ定まっておりませんが、今回モデル事業として28年度、29年度行って、データを積み上げて検討していきたいと思っております。

○ 毎日新聞

毎日新聞です。

同じく「もの忘れ検診事業」についてなんですけれども、こういう例えば認知症の診断とか、なかなか本人の同意を得づらいようなケースもあると聞いているんですけれども、例えばこういうふうに対象者をきちんと市が示すことで、ご本人にお勧めしやすくなるみたいな効果もあるんでしょうか。

○ 市長

そういった効果もあると思いますし、先ほども申し上げましたけれども、やはり早期に認知症をご本人あるいはご家族が知ることが、認知症を予防

したり、あるいは進行を遅らせるためには大変重要なことだと考えております。特に高齢化が急速に進んでいく本市にとりましても、やはり認知症の方々をできるだけ少なくしていく、あるいはなるべく進行を遅らせていくということが大変重要な高齢化施策の一つと認識しております。

そして、具体的に受診勧奨の周知の仕方としては、28年度についてはホームページへの掲載や、区役所及び医療機関等でのチラシ、ポスターによる周知、また8月の市報での周知によって受診を勧奨していきたいと思っております。

また、今後認知症サポーター養成講座あるいは認知症カフェなどを通じまして、多面的にこういった検診を受けていただけるように啓発活動にも取り組んで、検診率をアップさせていきたいと思っております。

## 議題2、3に関する質問

### ○ 時事通信

時事通信です。

今の「もの忘れ検診」は、モデル事業という話でしたけれども、モデル事業と今後の本格実施というのがあるのかというところで、違いをちょっと教えていただきたいなということと、ホームドアなんですけれども、今対象となり得るのが6つプラス「さいたま新都心」ということで、今回2つですが、これ以外にも実施予定なり、計画なり、方針があるのかということについてお願いします。

### ○ 事務局

平成28年度と平成29年度がモデル事業ですが、平成28年8月から平成29年度中間までの事業の効果検証を踏まえまして、30年度以降の本格実施について検討していく予定にしております。

### ○ 市長

2つ目の今後の予定ということでありまして、ホームドアの設置補助につきましては、鉄道事業者の事業スケジュールによるところが大きいということもありまして、現在のところ、次はどこを補助するという協議についてはまだ行われておりません。

市としては、今後も鉄道事業者と協議をして、鉄道駅のホームの安全確保のために引き続き支援をしていきたいと考えております。

### ○ 時事通信

今の関連で、一番乗降客が多いのが「大宮駅」ということ、もちろんこれ京浜東北線だけじゃなくて新幹線もあるということなのかもしれませんが、「大宮駅」が今回選ばれなかった理由というのは、もちろん鉄道事業者

の話もあると思いますけれども、どういうところでしょう。

- 市長 私どもで聞いているところでは、ホームの構造上、要するに「浦和駅」、「さいたま新都心駅」でやる以上に、かなり大規模な改修が必要となるということでありまして、そのために今後もう少し検討が必要だと伺っております。
- 日本経済新聞 日経新聞です。  
ホームドアなんですけれども、補助対象者となるJR側のホームドアの設置に対する姿勢が、今段階でどこにいつごろ置くとか、まだ全然先の話なのか、そのJR側の姿勢で、もしわかるところがあれば教えてください。
- 事務局 JR側からは、特段この2駅以外についての相談を受けていない状況でございます。
- 日本経済新聞 「さいたま新都心駅」と「浦和駅」は、もう設置の意向があるということですか。
- 事務局 はい、そうです。そういう意向をいただいて補助金申請がありましたので、私どもとしては補助金を交付するという形になります。
- 日本経済新聞 それは、ホームドアをいつごろ設置するとかというのは。
- 事務局 工事はこれから着手すると聞いております。
- 時事通信 細かくて済みませんが、これ国の補助金というものもあるんでしょうか。これは市だけ、県とかもあるのですか。
- 事務局 まず、「さいたま新都心駅」は国の補助金も交付されると伺っております。県の補助金ですが、補助はしないと聞いております。

## 議題2に関する質問

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。  
「もの忘れ検診事業」の追加の質問なんですけど、先ほど県内とか全国の実施状況をお伺いしたときに、県内草加市と八潮市はチェックリストのみということだったんですけれども、「鑑別診断」を含めた一体的なケアをしていくのは、さいたま市は県内で初めてということで大丈夫ですか。
- 事務局 県内では初めてとなります。

幹事社質問 1：参議院議員選挙結果、選挙権 18 歳へ引き下げ後初となる国政選挙での啓発活動、市内大学への期日前投票所の設置予定について

幹事社質問 2：マイナンバーカードの交付状況について

○テレビ埼玉

質問は大丈夫でしょうか。

それでは、幹事社として代表質問させていただきます。質問はまとめて行いますので、よろしくお願いします。

まず 1 点目が、先日 7 月 10 日に投開票が行われました参議院選挙の結果をどのように受けとめるのかということと、あと選挙権が 18 歳に引き下げられ、国政選挙としては初となる今回の選挙でしたが、さいたま市として啓発活動は十分だったか。

あともう一点が、県内では大東文化大学に期日前投票所が設置されましたが、今後市内でも大学に投票所を設置する予定はあるのでしょうか。

あともう一点が、マイナンバー制度の適用から半年が経過しましたが、現在市内の交付状況について教えてください。

○市長

それでは、幹事社からの質問に順次お答えをしていきたいと思えます。

まず、1 点目の参議院選挙結果についてでございますが、まず今回の参議院議員選挙でご当選されました皆様に、お祝いを申し上げたいと思えます。特に全国屈指の激戦でありました埼玉選挙区を勝ち抜かれた皆様に、敬意を表したいと思えます。

埼玉選挙区でご当選された方々は、従来からさいたま市政の課題について深い理解をいただいている方々でもございます。引き続き、さいたま市政の課題解決に向けて、強力な支援、また連携をいただけるのではないかと期待をしているところであります。

選挙全般を振り返りますと、選挙（公示）後に英国の EU 離脱に伴う経済の不安定の要素はあったとは言え、安倍政権の進めている経済政策であるアベノミクスについて、経済に対する認識を含め、一定の評価がなされたのではないかと考えております。

また一方で、消費税率改定見送り後の財源問題、特に社会保障関係のあ

り方について、政策の優先順位を含めた議論が深まらなかったことは、大変残念に思っております。

また、野党協力による候補者一本化の効果が、一部とはいえ選挙結果にあらわれたことは、選挙戦術として注目しているところであります。しかし、当選後の所属会派のあり方を含め、当選された皆様には政治家としてのスタンスをはっきりさせていただかないと、有権者から批判を招くということにもなるのではないかと思っております。

2つ目の参議院選挙の啓発活動ということについてでございます。このたびの参議院議員通常選挙では、選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられまして、これまで以上に注目を集める選挙となったところでございます。

全国的に、投票率低下傾向の続く中で、市選挙管理委員会では投票環境の向上に向けた取組として、選挙人が日常的に利用する場所に臨時期日前投票所を新たに設置させていただきました。新設した臨時期日前投票所では、約1万900人の利用があり、投票者総数に占める期日前投票者の割合は26.5%となり、過去最大の数となりました。

啓発活動につきましては、高校生との意見交換会の開催、大学生との啓発動画の共同制作、さらには高校や大学での出前講座の実施など、若年層に向けた新たな取組を積極的に進めており、一定の評価ができるものと考えております。

埼玉県選出議員選挙におけるさいたま市全体の投票率は53.55%となりまして、前回、平成25年度と比べまして2.77%増えまして、埼玉県平均の51.94%を上回る結果となったところであります。

今後も投票環境の整備、また若年層に向けた啓発活動など、投票率向上に向けまして効果的な取組を進めていくことを期待しております。

3つ目の市内大学への期日前投票所の設置予定についてお答えしたいと思います。大学などの施設内に期日前投票所を設置する取組は、東松山市が大東文化大学の東松山キャンパス内に設置するなど、多くの自治体で進められております。しかし、期日前投票所は行政区ごとの設置となるために、大学内に期日前投票所を設置したとしても、必ずしもその大学に通う学生が期日前投票を行えるということではないという状況でございます。さらに、平成27年に「公益財団法人明るい選挙推進協会」が実施いたし

ました調査によりますと、親元を離れ進学した学生のうち、現在自分が住んでいる場所に住民票を移している方は、約26%程度となっております。

こうしたことから、市選挙管理委員会では大学などではなく、日常的に人の集まりやすい大型商業施設や駅前に臨時期日前投票所を設置して、投票率向上に向けた取組を引き続き進めていくと聞いております。

続いて、マイナンバーについてのご質問にお答えしたいと思います。ことしの1月以降、「地方公共団体情報システム機構（J-LIS）」のシステムトラブル等によりまして、相当数のカードの滞留分が発生しております。5月以降は、おおむね順調に稼働しておりまして、現在滞留分の早期解消に向けて交付事務のスピードアップを図っているところであります。カードが区役所に届いていることを申請者にお知らせする交付通知書はがきの発送を最優先しまして、8月中には滞留分も含めてカードを申請された全ての方にはがきをお届けできるように進めております。

交付通知書はがきにつきましては、6月末時点での交付申請が約11万3,000枚に対しまして、7月8日までに約9万4,500通を発送しまして、発送率としては約83.7%でございます。この交付通知書はがきと必要書類を持参していただきまして、各区の区民課窓口でマイナンバーカードを受領していただきます。このマイナンバーカードにつきましては、7月8日現在では約5万7,000万を交付しております。交付率は約50.6%でございます。

交付通知書はがきを受け取った方に、マイナンバーカードの早目の受領をお願いするお知らせを市報8月号に掲載する予定になっております。できる限り滞留分も含めて、年内にはカードを申請された全ての方にマイナンバーカードを受領していただけるようにしたいと考えております。

#### ○テレビ埼玉

ありがとうございます。幹事社の代表質問に対して質問ある方はいらっしゃいますか。

そのほかで質問のある方は質問をお願いします。

### その他：別所沼公園への「浦和うなこちゃん」石像の再設置について

#### ○ 時事通信

時事通信です。

なくなっていた別所沼のうなこちゃん像が再設置というか、復活すると

ということで、これに対する市長の見方を教えていただければと思います。

- 市 長 （浦和）うなこちゃんを、（さいたま）観光大使として（委嘱）しておりますまして、これまで特に市民の皆さんの目にとまりやすい場所としては浦和駅前と、別所沼 （公園内）にうなこちゃんの石像が設置されておりました。

それが、別所沼のほうが何者かに持ち去られまして、その後別所沼をさらっていただいたり、いろいろ取組をしましたが、残念ながら発見することができなかったわけですけれども、「浦和のうなぎを育てる会」の方々のご協力によりまして再設置ができることになりました。観光大使として本市を積極的にPRしてきてくれたこのうなこちゃん像というシンボルが、大変多くの方々が憩いの場として使っていただいているこの別所沼 （公園内）に戻ってくるということは、私たちにとっても大変うれしいことだと思っております。引き続き、皆さんにかわいがっていただける存在として、また大切に使っていただきたいと思っております。

### その他：天皇陛下の生前退位について

- 産経新聞 産経新聞です。  
天皇陛下のほうが生前退位の意向を示されたということで、市長としての受けとめをお教えいただければと思います。
- 市 長 本日の新聞各社の報道によりまして、天皇陛下の生前退位ということについての報道がたくさんございましたけれども、一方で、宮内庁の山本次長からは、そのような事実は一切ないということで否定をされているようであります。大変恐縮ですが、私としては現時点でのコメントについては差し控えさせていただきたいと思っております。
- テレビ埼玉 そのほか質問ありますでしょうか。  
ありがとうございました。以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。
- 進 行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。  
次回の開催は7月28日木曜日、1時半からを予定しておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

午後2時14分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。